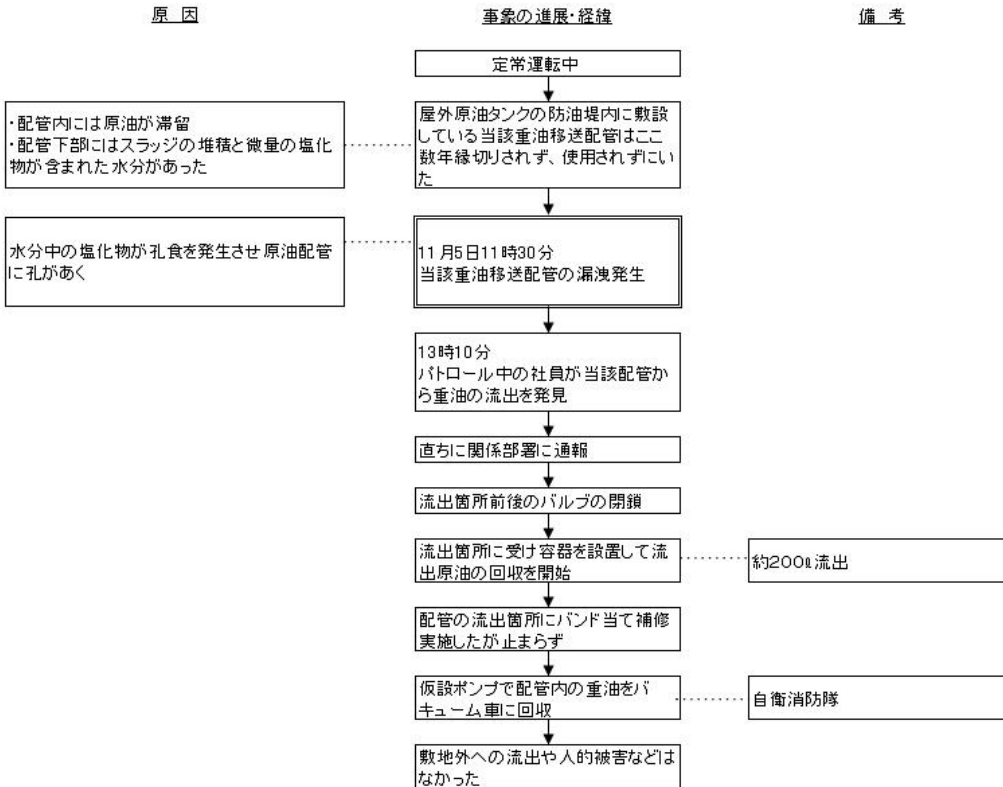




屋外原油タンクに付帯する原油移送配管の内面腐食による原油の流出

事象進展図

00495	原油移送配管の内面腐食による原油の流出
発災年月日	2008年11月5日(水)
装置	屋外タンク(原油)貯蔵所
運転状況	定常運転中
特徴	未使用配管の保全養生不備による内面腐食で開口し重油が漏洩した事例



再発防止策

- 1、長期間使っていない当該配管を今後も使用予定がなければ撤去
- 2、点検の頻度、内容など保守・点検基準などの見直し

安全専門家コメント

原油配管の滞留部に原油中の水分及びスラッジが滞留し、原油から持ち込まれた塩化物イオンが濃縮され局所的に腐食を起こす例は非常に多い。当該重油配管の事例はまさに当てはまる。長期間使用せず縁切もしていない配管や常時使用していても液が滞留するドレン抜きノズル、分岐管、行き止まり配管などは腐食を起こし易い箇所であり、本事例以外にも多数の事故が発生している。それらの部分については定期的な点検が必要となり、保守保全計画や点検基準に組み入れて確実に実施する必要がある。

引き金事象発生の原因
・未使用配管の養生および縁切り不足 ・滞留スラッジ中の水分に含まれる塩化物による孔食

事故の引き金事象
腐食による配管(炭素鋼)の開口・漏洩

事故に関係した直接・間接要因
《保守・点検要因》 保守・保全不良 《管理・運営要因》 点検、検査など保守管理不十分



屋外原油タンクに付帯する原油移送配管の内面腐食による原油の流出

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

消防

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

- 🔑 水分・スラッジ
- 🔑 配管 > パイプ
- 🔑 配管滞留部
- 🔑 保守・点検
- 🔑 孔食
- 🔑 塩化物イオン
- 🔑 貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備
- 🔑 海上入出荷系

▶ 関連情報